

```

*****
**                                     **
**               インストール手順書               **
**                                     **
** Systemwalker for Symfoware Server Message Monitoring Tool 11.1 **
**                                     **
*****

```

[高度な安全性が要求される用途への使用について]

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

■商標について

- ・ OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ 文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。本文中の記載内容は予告なしに変更される場合があります。

■略語表記について

本書では、各製品を次のように略記しています。あらかじめご了承ください。

- ・ Solaris 7
 - ・ Solaris 8
 - ・ Solaris 9
 - ・ Solaris 10
 - ・ Solaris 11
- を“Solaris”と略しています。

Copyright FUJITSU LIMITED 2003 – 2014

修正履歴

<初版(2003年10月)から第2版(2010年10月)への変更点>

- 1) 商標および略称表記の変更
- 2) 基本ソフトウェアへのSolaris 10の追加。

<第2版(2010年12月)から第3版(2014年10月)への変更点>

- 1) 基本ソフトウェアへのSolaris 11の追加。
- 2) 基本ソフトウェアからSolaris 7およびSolaris 8の削除。
- 3) 必須ソフトウェアのバージョン・レベルの修正。
- 4) “4. ヘルプデスク用ノウハウ票の利用について”の削除
- 5) “4. Symfoware Serverを同梱する製品との共存時の注意事項について”の追加。

1. 構成プログラム

システムを構成するプログラムの単位をパッケージと呼びます。本ソフトウェアは、以下に示すパッケージおよびファイルから構成されています。

【提供パッケージ】

項番	パッケージ名	バージョン・レベル	機能
1	FJSVswsst	11.0	メッセージ監視デーモン

2. ソフトウェア環境

本ソフトウェアを使用する場合には、以下のソフトウェア環境を満たしている必要があります。

1) 前提基本ソフトウェア

本ソフトウェアを使用する場合、以下の基本ソフトウェアが必要です。

項番	基本ソフトウェア名	備考
1	Solaris 9 Solaris 10 Solaris 11	

2) 必須ソフトウェア

本ソフトウェアを使用する場合、以下のソフトウェアが必要です。

項番	製品名	パッケージ名	バージョン	備考
1	Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition または Systemwalker Centric Manager Standard Edition または Systemwalker Centric Manager Global Enterprise Edition	注)	13.3以降	
2	Symfoware Server Standard Edition または Symfoware Server Enterprise Edition または Symfoware Server Enterprise Extended Edition または Symfoware Parallel Server	注)	4.0以降	監視可能な Symfoware Server のバージョン・レベルは左記のとおり

注) パッケージ名は該当製品のインストールガイドを参照してください。

3. インストール手順

本ソフトウェアをインストールする手順を以降に説明します。

3.1 ソフトウェアのインストール

1. システム上でスーパー・ユーザになります。

```
# su <Enter>
Password:***** <Enter>
```

2. パッケージ (FJSVwsst.tar.Z) を解凍します。

(あらかじめ、FJSVwsst.tar.Zを作業ディレクトリにコピーしておきます)

```
# cd 作業ディレクトリ
# uncompress -c FJSVwsst.tar.Z | tar xf -
```

3. インストールを開始します。

— 以下のコマンドを実行して、インストール処理を開始します。

```
# pkgadd -d 作業ディレクトリ FJSVwsst
```

- インストール情報の変更確認メッセージが出力されます。変更する場合は y<Return> を、変更しない場合は、n<Return> を選択してください。

+-----+
| </work> 中のパッケージインスタンス <FJSVswsst> を処理中です。 |
+-----+

Systemwalker for Symfoware Server Message Monitoring Tool package
(sparc) 11.0

+-----+
| Systemwalker for Symfoware Server |
| Message Monitoring Tool |
| 11.0 DLIB |
| Copyright All Rights Reserved |
| Copyright (c) FUJITSU LIMITED 2004 |
+-----+

This package default installation information is following:
Program install directory: /opt

Do you want to change the installation information? (default:n)
[y, n, ?, q]

- パッケージのインストール継続確認メッセージが出力されます。インストールを継続する場合は y<Return> を、インストールを中止する場合は n<Return> を選択してください。

+-----+
| </opt> をパッケージのベースディレクトリとして使用します。 |
+-----+

パッケージ情報を処理中です。
システム情報を処理中です。
ディスク領域の要件を確認中です。
すでにインストール済みのパッケージとの重複を確認中です。
setuid/setgid を行うプログラムを検査中です。

このパッケージには、パッケージのインストール処理中にスーパーユーザーのアクセス権で実行するスクリプトが含まれています。

<FJSVswsst> のインストールを続けますか [y, n, ?]

4. インストールを終了します。

インストール処理が正常に終了した場合は、以下のメッセージが出力されます。

+-----+
| <FJSVswsst> のインストールに成功しました。 |
+-----+

5. メッセージ監視デーモンを起動します。

以下のコマンドを実行して、メッセージ監視デーモンを起動します。

+-----+
| # /etc/init.d/mpswss start <Enter> |
+-----+

以降は、システムの再起動のタイミングで自動的に起動されます。

3.2 ソフトウェアのアンインストール

1. システム上でスーパーユーザになります。

+-----+
| # su <Enter> |
| Password:***** <Enter> |
+-----+

2. メッセージ監視デーモンを停止します。

以下のコマンドを実行して、メッセージ監視デーモンを停止します。

+-----+

```
| # /etc/init.d/mpswss stop <Enter> |
```

3. アンインストールを開始します。

- 以下のコマンドを実行して、アンインストール処理を開始します。

```
| # pkgrm FJSVswsst |
```

- パッケージの削除確認メッセージが出力されます。アンインストールを開始する場合は y<Return> を、アンインストールを中止する場合は n<Return> を選択してください。

```
| 次のパッケージは現在インストールされています： |
```

```
| FJSVswsst      Systemwalker for Symfoware Server Message Monit |
| oring Tool package (sparc) 11.0 |
```

```
| このパッケージを削除しますか [y, n, ?, q] |
```

- パッケージの削除処理の継続確認メッセージが出力されます。処理を継続する場合は y<Return> を、処理を中止する場合は n<Return> を選択してください。

```
| ## インストール済みパッケージインスタンス <FJSVswsst> を削除中です |
```

```
| このパッケージには、パッケージの削除の処理中にスーパーユーザーのアクセス権で実行されるスクリプトが含まれています。 |
```

```
| このパッケージの削除処理を継続しますか [y, n, ?, q] |
```

4. アンインストールを終了します。

アンインストール処理が正常に終了した場合は、以下のメッセージが出力されます。

```
| <FJSVswsst> の削除に成功しました。 |
```

4. Symfoware Serverを同梱する製品との共存時の注意事項について

クラスタ構成において、Symfoware Serverを同梱している製品と共存した場合に、メッセージ監視ツールが正しく動作しない場合があります。

この場合、監視対象のRDBシステムを指定(問題が発生する製品のRDBシステムを除外)することにより、正しく監視することができます。

1) 問題の内容と発生する製品

- 問題の内容

クラスタ構成において、切り替えが発生した場合に、切り替え前に出力したメッセージが、切り替え後に再度通知される場合があります。

- 問題が発生する製品

問題が発生する製品とその製品が使用しているRDBシステム名は以下のとおりです。

製品名	RDBシステム名
ETERNUS SF AdvancedCopy Manager	RDBSWSTF
ETERNUS SF Storage Cruiser	RDBSWSTF
Systemwalker PerfMGR	PERF

2) 定義されているRDBシステム名の確認方法について

RDBシステムは、RDB構成パラメタファイルを作成することにより定義することができます。

RDB構成パラメタファイルは以下の場所に作成されています。

対象のディレクトリ : /opt/FSUNrdb2b/etc
RDB構成パラメタファイル名 : <RDBシステム名>.cfg

注) 以下のRDB構成パラメタファイルは雛形として標準で提供されています。
RDBSYS.cfg
CAPITAL.cfg
SATELLIT.cfg

- 3) 監視するRDBシステムを指定する方法
監視するRDBシステムを指定する方法について説明します。

対象ファイル : /opt/FJSVswsst/data/mpfswrpt.conf
対象パラメタ名 : SYSTEMNAME

記述形式
SYSTEMNAME = [RDBシステム名1], [RDBシステム名2],

説明
・ SYSTEMNAMEを省略するとすべてのRDBシステムが対象となります。
・ RDBシステム名を省略するとすべてのRDBシステムが対象となります。
・ システム名なし(rdbsysconfig)を監視する場合は、“-”を記述します。

注意事項
・ 存在しないRDBシステム名を記述すると、SYSTEMNAMEの指定が無効となり、すべてのRDBシステムが対象となります。

例
以下のRDBシステムが定義されている環境において、RDBSWSTFだけを監視対象から除外する場合、下記のように記述します。

【定義されているRDBシステム】
RDBDB1
RDBDB2
RDBSWSTF
システム名なし
【SYSTEMNAMEパラメタへの記述】
SYSTEMNAME = RDBDB1, RDBDB2, -

設定の反映方法
システムを再起動するか、以下のコマンドを実行すると設定が反映されます。
/etc/init.d/mpswss stop
/etc/init.d/mpswss start

5. 注意事項

以下の製品がインストールされている環境にはインストールしないでください。

- Systemwalker for Symfoware Server マネージャ/エージェント 5.0
- Systemwalker for Symfoware Server マネージャ/エージェント 10.0